



11th チャレンジャー

宮川 園望  
(みやがわ そのみ)  
● 1983年生まれ29歳  
● 職業 会社員  
● 趣味 エギング、ダイビング

第1次審査 vol.11

三浦半島 小網代沖の カワハギ

三浦半島小網代港 太平丸  
写真/文●本誌編集部

女性読者モデルオーディション  
DOKUMO  
ドクモスカウト  
2012



パターンが  
分かりました。  
ここから  
釣りますわよ

♡1枚釣ったらマイペース。得意な釣りだけあります



釣りに恵まれた環境にあるので(三浦市在住)、毎日のように釣りをしています。ただ船外機や陸っぱり釣りがメインで、釣り船の経験は数えるほど。好きなカワハギ釣り、とても楽しみです。



▲この日最大は27センチだった

悔しい、30センチあるかと思つたのに



▲夢の30センチオーバーには届かなかった  
▶当日の小網代沖は潮の動きが今一つだった  
◀彼女は色んなエサを持参していた

▲巻き上げのスタイルも様になっています



園望の感想  
♥釣って楽しく、食べておいしいカワハギ釣りにすっかりハマってます。今日こそ夢の30センチオーバーともくろんでいましたが、26センチ止まり。今回の反省は次回に生かし、30センチオーバーを釣るようがんばります。

impression



▲トップは23枚。ベテランさんでした



▲平均2ヶタ。小網代沖はこれらが本番だ

ドクモスカウト事務局代表  
**徳永 隆也 25点**  
(A~Fの項目 30点満点で採点)

評価 いったんスイッチが入ると見えるような手さばきで次つぎとカワハギを掛けていく姿には恐れ入りました。女性アングラーの中でもテクニクと知識はピカイチ。今後の活躍を期待します。

カメラ担当 **T 17点**  
(ビジュアル中心に20点満点で採点)

評価 さすが釣り好き、ウェアからスタイルまでパッチリ決まっています。

つり情報代表 本誌発行人  
**根岸 伸之 24点**  
(A~Fの項目 30点満点で採点)

評価 さすがカワハギが得意だけあり、タックル、仕掛けなどの準備は万全だった。普段釣り慣れている釣り場というのも彼女に味方したようで、あの食い渋りで船中2番手はまずまずです。

A: 情報度...釣り全般に対する情熱。B: 上達度...実際に体験した釣りのもの。取材当日の上達度。C: 知識度...釣りに関する経験、知識。D: センス...釣りのセンス。E: お腹がせ度...船の中でムードメーカーであったか、元気だったか。F: 釣果...船中の釣果に対して平均か否か。

Score  
総合得点 **82点**  
※この点が一次審査の持ち点になります  
100点満点

太平丸船長の目  
**関本 透船長 16点**  
(テクニク中心に20点満点で採点)

釣りは完璧です。もう少し数が釣れれば……。

ドクモスカウト2012  
募集要項

●内容: 2012年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラー育成のお手伝いをさせていただきます。

●応募条件: 自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。

●選考方法: 毎月1名、書類審査通過者に選ばれる。

さらに詳しく...

乗船メモ  
三浦半島 小網代港 **太平丸**  
● 046・881・3934 (詳細は巻末の情報欄参照)  
● 料金=仕立船5人まで3万5000円1人増し6000円(エサ別、氷付き)。  
● 備考=他にイナダ、ワラサ、アジ、ヤリイカなどへも

「カワハギ釣りが好きですけど、今はアサリ以外のエサを色いろと試してるんです」  
こう言いながら宮川さんが持参したのはアサリ以外にエビ、イカ、タコなど。普段は船外機船で好きな時間に、好きな釣り物を自由気ままに楽しんでるからだろう。

10月12日、乗船したのは三浦半島小網代港の太平丸。仕立専門の船宿だが、彼女の釣り仲間などが9人も集まり、賑やかなうちに船となった。

7時に小網代沖の25メートルダチで釣り開始。さすがカワハギ釣りが得意というだけあって、仕掛けはすべて手作り、多彩なエサもみずから仕込んできたものだった。

この日は潮がほとんど流れず、

前半はポツポツ程度。彼女はエサを替え、仕掛けを替えて食い渋りのカワハギに対処していく。船中で数枚のカワハギが上がった30分後、小型ながら第1号を釣り上げてホッと一息の表情だ。ようやくスイッチが入ったようで、その後はいいペースでカワハギを掛けていく。

「パターンが分かった」  
一時は20センチオーバーの良型を連釣したときは周囲も驚くほど。どうやらこの時はエビエサで掛ける釣り方に開眼したようだった。

1時半に納竿。15〜27センチをトップは23枚、彼女は14枚を釣り上げて船中2位。終始食い渋りの中では上々の成績だったと言えるが、

「悔しいです。もっと釣りたいかった」と、とても残念な表情。毎日のように釣りをしている彼女にとっては、やや物足りなかつたのだろう。と同時に、負けず嫌いな性格も垣間見せてくれたのだった。